

第二北大通線について

泉 二一良 議員

問 ①第一期整備区間の進捗状況と今後の予定②第一期整備区間の残りの地権者数と買収面積③第二期整備区間の整備予定について、それぞれ伺いたい。

答

メモリアル彩雲の南から東武熊谷線跡地までを第一期整備区間、さらに国道四〇七号までを第二期整備区間としており、①第一期整備区間は平成十九年度から用地買収に着手し、現在、用地買収率は約四十八%である。今年度から下水道工事に着手しており、来年度からは一部区間の道路工事に着手したいと考えている。今後は、東武熊谷線跡地および大幡中学校北側の市道を経由し、国道四〇七号へ接続するルートでの暫定供用を計画している。②地権者数は九人で、買収面積は三千六百三十平方メートルとなっている。③第一期整備区間の進捗状況を見ながら、事業化を図っていききたい。

○その他の質問項目 「市長の政治姿勢について」

熊谷市の行政において県下もしくは関東で統計上、上位に位置する事項、下位に位置する事項にどんなものがあるか

新井 宏 議員

問

県知事の話によると、良い点、悪い点を把握していなければ、改善や伸ばすべき施策が判明しないとのことである。本市の実態について伺いたい。



市庁舎

答

県内七十市町村における上位五位以内にある主な項目は、市の総面積五位、総面積から林野等を差し引いた可住地面積二位、農業産出額二位、製造品出荷額等四位、年間商品販売額三位、他市町村からの通勤者五位、道路実延長および都市公園面積二位などがある。一方、比較的下位に位置する項目は、水洗化率が五十一位、交通事故発生

熊谷の子どもたちの教育について

富岡 信吾 議員

問

①本市の生徒指導の現状と課題、および具体的な取り組み②規範意識の育成を目指した本市の取り組み③文部科学省が行った情動の科学的解明と教育等への応用に関する調査研究の成果を取り入れた取り組みについて、それぞれ伺いたい。

答

①全体の暴力行為やいじめ等のいわゆる問題行動は減少傾向にあるが、未然防止や早期解決に向けてのより迅速な対応が課題である。各学校では、常に事あれば全員の先生方が動くといった体制を整えている。②道徳の間はもとより全教育活動の中で、規律ある態度の育成に取り組んでいる。③研究の成果として、基本的な生活習慣の確立や愛着形成が重要であり、学校や家庭、地域社会の大人の皆さんに手本になっていた、生きる力そのものである「熊谷の子どもたちはこれができます。」の四つの実践を引き続き取り組んでいきたい。

○その他の質問項目 (学校教育課)

旧熊谷市内公民館の建て替えについて

磯崎 修 議員

問

①旧熊谷市の公民館が他の地域に比べて建物が古い理由②旧熊谷市の公民館の建て替え整備計画について、それぞれ伺いたい。

答

①熊谷地域では、昭和四十年代から五十年代にかけて、公民館建設が計画的に行われた一方、大里、妻沼、江南地域の公民館の多くは、コミュニティセンターや文化会館等との複合施設として、昭和五十年代後半以降に建て替えが行われたことから、建築の経過年数に違いが生じている。②今後の熊谷地域の公民館施設整備については、現在の財政状況を考慮すると、学校教育施設の耐震化工事等に多額の費用を要するため、公民館の建て替えの計画を策定することは困難と考えているが、公民館における学習環境の向上を図るため、適宜、施設の修繕に取り組みとともに必要に応じた改修を実施し、施設の保全に努めていく。

○その他の質問項目 (社会教育課)

食と農を活かしたまちづくりについて その二

大嶋 和浩 議員

問

学校給食で地元農産物の使用をさらに進めることはできないか。できないとすれば課題・ハードルは何か伺いたい。

答

学校給食施設のうち、最も購入量が多い熊谷学校給食センターで購入する野菜のうち、埼玉県産の比率が比較的高いものとしては、にんじん、キャベツ、長ネギがある。反対にほとんどが他県産のものは、じゃがいも、たまねぎがある。じゃがいも、たまねぎは学校給食で最も多く使用する野菜であり、これを、地元産を中心に年間を通して安定的に調達することが課題となっている。

○その他の質問項目 「行財政改革について その九」